ウェルナー症候群について

山形大学医学部附属病院 形成外科 矢野亜希子

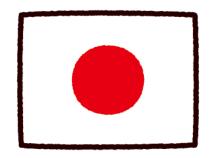
ウェルナー症候群

- ・1904年 ドイツの医師 オットー・ウェルナーにより報告
- ・常染色体劣性遺伝
- ・RecQ型のDNAへリカーゼ遺伝子(WRN遺伝子)の変異

早老症候群 のひとつ

日本の推定患者数 700~2,000名

世界の報告の6割が日本人



主要徴候 -10歳以後40歳まで出現-

- 早老性毛髮変化(白髮、禿頭等)
- 白内障(両側)
- 鳥様顔貌
- ・ 音声の異常 (かん高いしわがれ声)
- ・皮膚の萎縮・硬化(鶏眼や胼胝等)、難治性潰瘍形成
- ・軟部組織の石灰化(アキレス腱等)



その他の徴候と所見

- ·糖、脂質代謝異常
- ・骨の変形などの異常(骨粗鬆症等)
- ・非上皮性腫瘍又は甲状腺癌
- ・血族結婚
- ・早期に現れる動脈硬化(狭心症、心筋梗塞等)
- 原発性性腺機能低下
- ・低身長及び低体重

診断

確定

主要徴候の全てもしくは 3つ以上の主要徴候に加え、遺伝子変異を認めるもの

疑い

白髪や脱毛などの早老性毛髪変化と両目の白内障が見られ、 主要徴候やその他の徴候から2つ以上見られるもの 早老機序は明らかになっていない

 \downarrow

根本的な治療法はない

対症療法

死因

悪性腫瘍 や 心筋梗塞

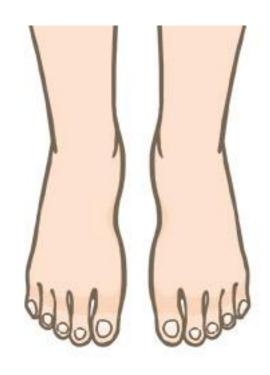
寿命

40歳代

→治療法の進歩により50~60歳代

難治性の皮膚潰瘍 疼痛や感染症併発

QOLの低下





結合組織の代謝異常

骨粗鬆症

糖代謝異常

皮下組織(アキレス腱)の石灰化



皮膚の萎縮・硬化







胼胝など













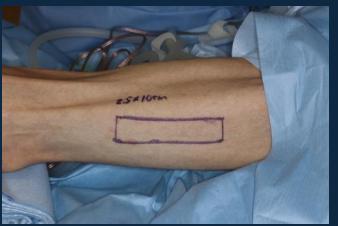














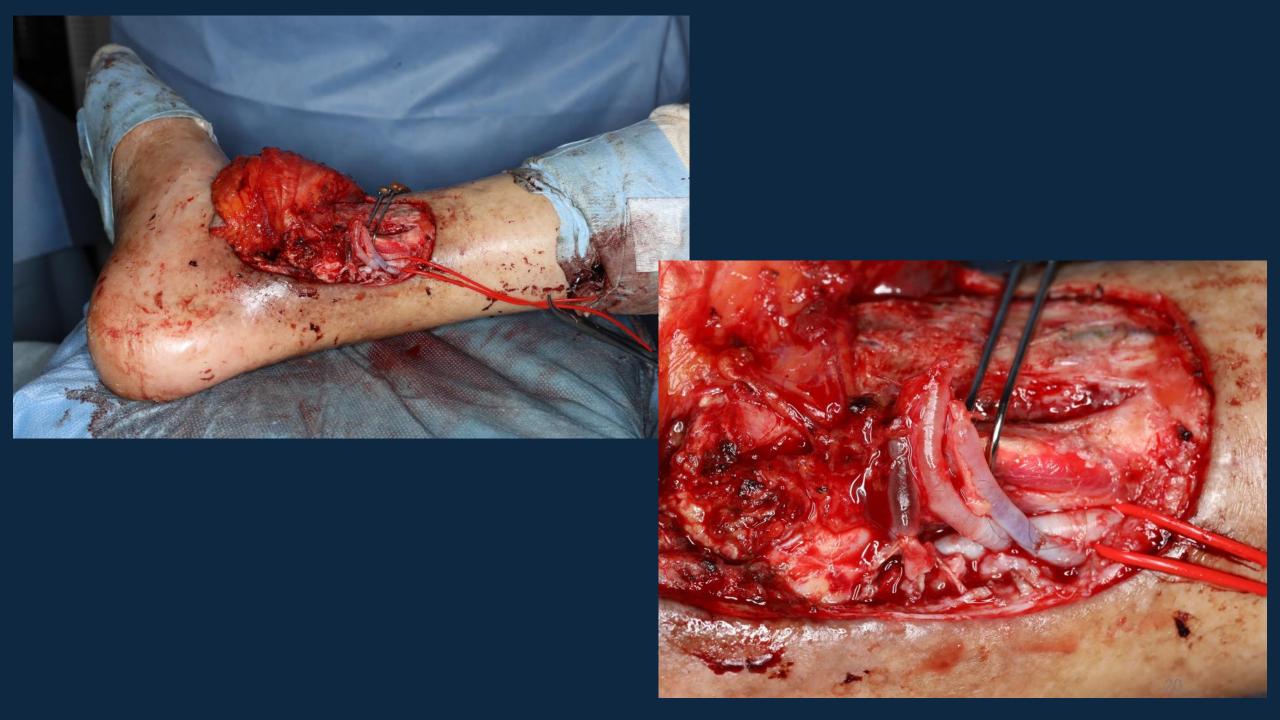












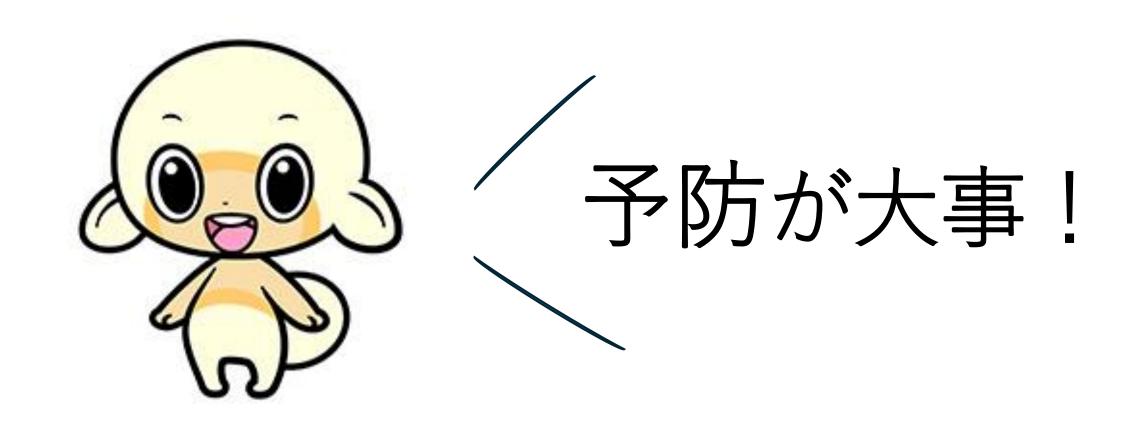




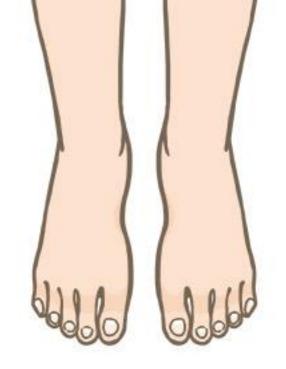






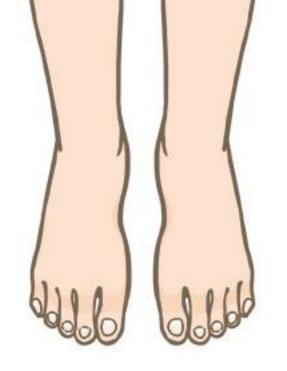


日本創傷外科学会 公式キャラクター なおるん



血管内治療

血糖コントロール



血管内治療

血糖コントロール

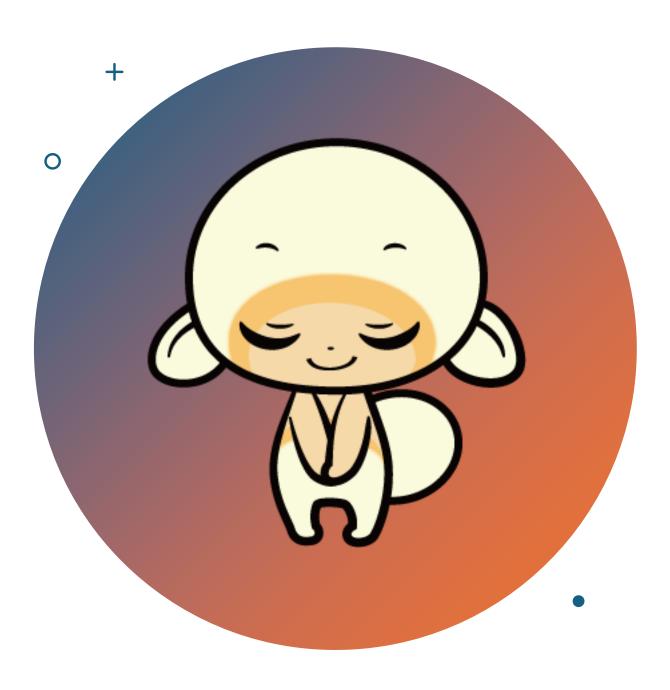
定期的なフットケア



胼胝下潰瘍をつくらない 悪化させない







ありがとうございました